



天文学の扉を開こう

12月の夜空

～ふたご座流星群と散在流星～

12月には三大流星群の一つ「ふたご座流星群」が、14日の午前10時ごろ極大を迎えます。日本で流星が最も多く現れそうなのは、13日の夜半過ぎから14日の明け方にかけてです。今年は15日が新月のため月明かりの影響もなく、かなり良い条件で観察できます。特に、高山村のように空の暗い場所で観察すれば、最大で1時間あたり50個前後の流星が見られそうです。13日だけでなく極大日の前後（12日や14日の夜）でも、最大で1時間あたり20個を超える流星が出現すると予想されています。当日が好天に恵まれるといいですね。

さて、今回は流星群の活動日に流星群に属さない「散在流星」も流れているというお話です。これまでに流れ星を見たところがある方は多いと思いますが、言うまでも無く流れ星は「〇〇流星群」の時期でなくても1時間に数個程度は流れています。逆に言えば、ふたご座流星群の日も流星群に混ざって散在流星も流れています。では、流星群の際にも流れている散在流星はどのように見分ければ良いのでしょうか。

まずは流星が、「放射点」から流れてくるように見えるかどうかを、チェックします。

地球に降り注ぐ流星のもととなるチリは一定の方向からほぼ平行に降り注いでいます。これを地球から観測すると放射点を中心に、四方八方へ放射状に広がるように流れていきます。したがって、流星が流れた元の方向をたどったとき、放射点を通るようなら、群流星である可能性が高いといえます。しかし、一般的に放射点に近い場所に現れた流星は、経路が短く、放射点から遠い場所では、経路が長く見えるため、放射点に近いのに、とても経路が長い場合は、群流星ではないことになります。

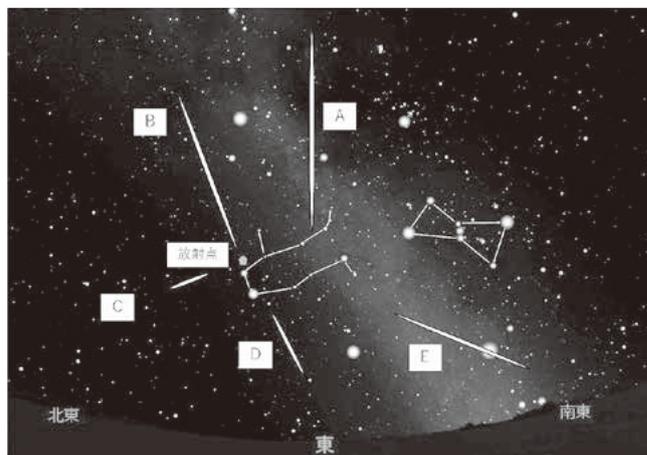


12月のぐんま天文台

・ふたご座流星群の観望会は新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため中止です。

〇星図の説明

12月15日午後8時の高山村の星空。
月初めの午後9時、月末の午後7時頃にも同じ星空になります（「月」を除く）。



A：散在流星（放射点に向いていない）
B：散在流星（放射点に近いのに長い）
C～E：流星群の流れ星と考えられる



リトルミュージアム

『クリスマスリースを作りました!』



ながおか きょうすけ くん
「大きくなったら、『鬼滅の刃』の伊黒小芭内」になりたいです!!



のりまつ ゆづき さん
「大きくなったら、『鬼滅の刃』の竈門禰豆子」になりたいです!!



こんどう はやと くん
「大きくなったら、『かぶと虫博士』になりたいです!!」



※わが家のアイドル(6カ月~4歳未満)を常時募集しています。掲載を希望される保護者の方は、役場地域振興課へお電話ください。お待ちしております(*^_^*) ☎26-7944(直通)



関田 塚越 向葵ちゃん(2歳)

わたしの名前は「ひなみ」です。明るく、前向きで誰からも慕われるように、とママが名前を付けました。好きな遊びはお人形のお世話をしたり、おままごとで料理を作ること!好きな食べ物は、うどんと枝豆です!

いとこのにいとねえねとは、いつも一緒に遊んでいます。

★元気で優しい子に育って欲しい、とママ。

こちら「11代目緑のふるさと協力隊」

ついに冬がやってきました。朝が寒すぎて毎朝布団から出ることに苦労しています。やっと農家さんの言っていた霜が降りるの意味がわかりました。朝真っ白な光景すこいです(笑)



note



instagram

日々の活動内容を投稿しています。

今年10月末から4泊5日で行った「若葉のふるさと協力隊」について記します。若葉のふるさと協力隊は簡単に言うと緑のふるさと協力隊の短期バージョンで、毎年実施しています。今年は大学生6名が高山村に来てくれました。大学最終年でやれることをやってみたい人や、緑のふるさと協力隊になろうか迷っている人がいて応募した動機は様々でした。

中で「これは良い。これは悪い。」と決めてしまうのではなくまずは多様な考え方を聞くこと、知ること。それから自分なりに考えていくことが大切だと感じています。若葉のふるさと協力隊と一緒に5日間過ごす中で、自分はこんなことを参加者に伝えたいと思ったので投稿しました。

1日目はテーマである問いを参加者に考えてもらい、参加者同士の交流をしました。2日目は農作業を体験してもらいました。2日目は慣行農家さん3日目は有機農家さんのお宅にお邪魔しこんにやく掘りや米袋を移動させる作業などを手伝いました。4日目は山仕事で植樹したナラの木の周りの草を鎌で刈る作業をしました。その日の夕方にタムで沈む村に住む人たちに焦点を当てたドキュメンタリー映画をみんなで見て、感じたことを共有しました。

5日間のまとめでは、参加者が5日間通して自身を抱えていた悩みから前向きな気持ちになれたと言ってくれることもあり胸が熱くなります!「緑の協力隊になります!」という声を聞いて本当にこのプログラムを組み立ててよかったと思います。私自身も若葉の協力隊と一緒に活動することによって、もっともっと自分を出していんだと前向きな気持ちになりました。若葉を受け入れてくれた農家さん、若葉に関わってくれた方々、役場の方、本当にありがとうございました。8時半から16時半で若葉のふるさと協力隊の活動受け入れをお願いします。」と伝えただけで多くの野菜をプレゼントしてくれた。そのウエルカム感が私や若葉の参加者を前向きな気持ちにさせてくれた。協力隊の期間も残りわずかになってきましたが、1日1日を大切に頑張っています!